

令和8年度 第1回 在宅医療×介護連携@つちう Labo 参加者アンケート

- 日 時：令和8年6月18日（木）14時00分～15時30分
- 場 所：土浦市2階 男女共同参画センター 研修室1・2
- テーマ：最期まで自分らしく暮らす支援～在宅でのACPの実際～
- 出席者：64名（アンケート回答率：96.9%）

1. あなたの年齢、職種を教えてください。

【年 齢】

	人数	割合
20代	6	9.7
30代	10	16.1
40代	19	30.6
50代	18	29.0
60代	8	12.9
70代以上	1	1.6
無回答	0	0.0
合計	62	100.0

【職 種】

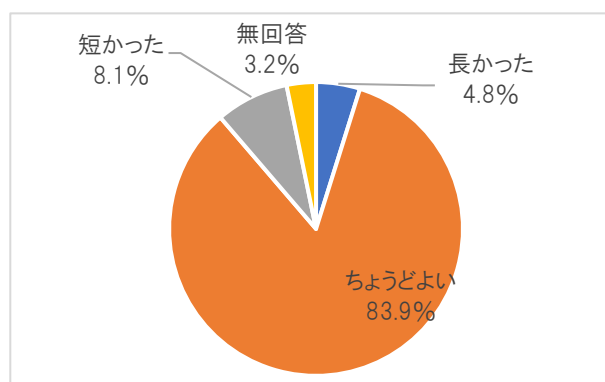
	人数	割合
薬剤師	21	33.9
保健師	1	1.6
看護師	7	11.3
作業療法士	1	1.6
社会福祉士	2	3.2
ケアマネジャー	21	33.9
介護職	3	4.8
生活相談員	1	1.6
事務職	1	1.6
その他	3	4.8
無回答	1	1.6
合計	62	100.0

2. 本日の研修会について

（1）講演についてお伺いいたします

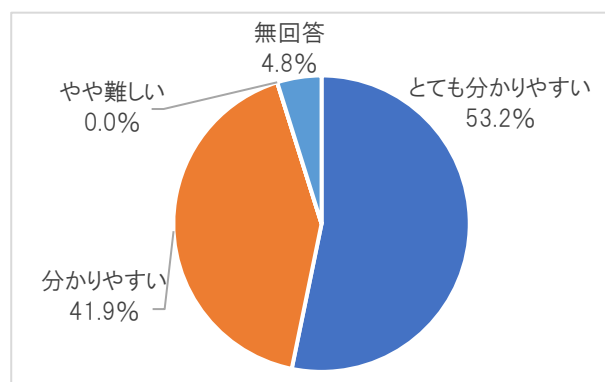
①講演の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	3	4.8
ちょうどよい	52	83.9
短かった	5	8.1
無回答	2	3.2
合計	62	100.0



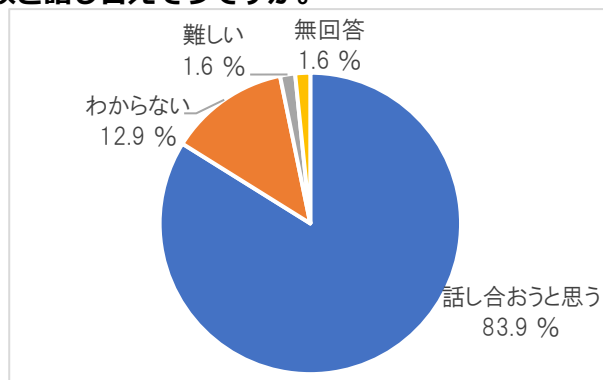
②講演の内容は、いかがでしたか？

	人数	割合
とても分かりやすい	33	53.2
分かりやすい	26	41.9
やや難しい	0	0.0
難しい	0	0.0
無回答	3	4.8
合計	62	100.0



③今後、終末期・看取りについて、利用者や家族と話し合えそうですか。

	人数	割合
話し合おうと思う	52	83.9
わからない	8	12.9
難しい	1	1.6
無回答	1	1.6
合計	62	100.0



【「わからない」・「難しい」と回答した方の理由】

○介護支援専門員

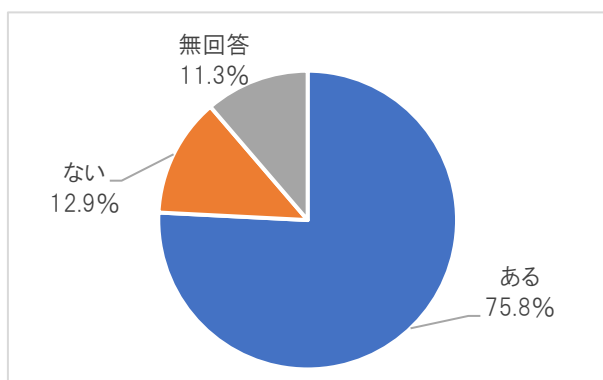
- ・相手の受けとめ方により変わる。

○薬剤師

- ・なかなか“死”の話題は何もない時は難しい。
- ・医師や看護師さんから、そのような話がなかった場合、不安感や不信感を持たれないか心配。
- ・切り出し方が難しいと感じる。

④今後取り組もうと思った内容がありますか。

	人数	割合
ある	47	75.8
ない	8	12.9
無回答	7	11.3
合計	62	100.0



【「ある」と回答した方：具体的な内容】

○介護支援専門員

- ・ツールの活用
- ・ACP のことは、身近なこととして話題を出していく
- ・早めに話し合う機会を持ちたいと思う
- ・多職種連携、本人や家族の意向の確認
- ・タイミングを見計らう
- ・本人の意思確認、医療との連携
- ・チーム連携
- ・タイミングよく、サービス担当者会議を開く
- ・同じようなケースを担当しており、7月に担当者会議の予定があるため、大変参考になった
- ・最期のこと（ACP）も、もう少し深く話し合っていきたい
- ・サービス担当者会議を開催することが、本人や事業所に負担をかけていると感じていたが、変化時は支援者の不安を軽減できる可能性もあることがわかった

○薬剤師

- ・本人の意思確認、治療方針への多職種連携
- ・訪問時に問題を感じた点を、積極的に情報共有する
- ・対象者と、こまめにコミュニケーションをとり、小さな気づきでも大切にしたいと思う
- ・多職種の意見を聞き、内容を共有できる場をつくる
- ・チーム医療
- ・患者様のご意向を、日々確認していく
- ・スタッフへ情報共有

○看護師

- ・丁寧な病状説明、本人・家族の意向への丁寧な寄り添い
- ・関わるチームでのコミュニケーションを、もっと密に図っていききたい
- ・繰り返し意思を確認していく事の重要性、関係性の重要性
- ・多職種連携
- ・ACP の3本柱を基準に考えていく

○社会福祉士

- ・ご本人の意向とご家族の意向のすり合わせ、様々な情報共有
- ・自己決定

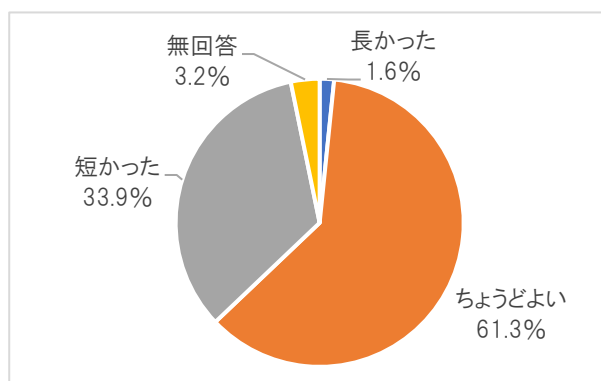
○その他

- ・ACP の話し合いの場が私達にとっては日常でも、本人や家族にとって大切で大きな決め事といったことを改めて考えられたので、今まで以上に丁寧に取り組みたい
- ・本人、家族、サービス提供者の連携
- ・ACP の確認をするタイミングなどは、チームで考えていききたいと思う
- ・ご本人や家族と関わる中で、意見や考えをくみ取り、チームと情報共有していききたい
- ・人生会議、やさしい感じで
- ・本人の意志を、どんな時でも確認しようとする
- ・ACP は契約時の単なる書き物ではなく、常に話し合っていこうと思った

(2) 意見交換会について、お伺いいたします。

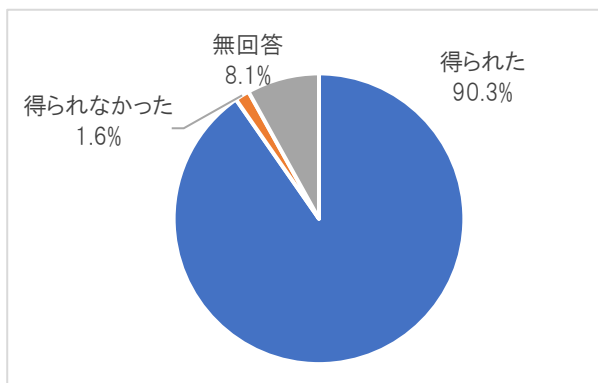
①意見交換会の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	1	1.6
ちょうどよい	38	61.3
短かった	21	33.9
無回答	2	3.2
合計	62	100.0



②今後の業務に活かせる成果が得られたか。

	人数	割合
得られた	56	90.3
得られなかった	1	1.6
無回答	5	8.1
合計	62	100.0



【「得られた」と回答した方：具体的な内容】

○介護支援専門員

- ・元気な時から ACP の機会を持つ
- ・多職種で話し合うことは大切だと感じた
- ・多職種の意見を聞き、今後に活かせる対応が聞けた
- ・他職種の方々のお話が聞けて勉強になった（視点や対応方法について）
- ・事例検討後の振り返りが参考になった
- ・アプローチの仕方
- ・認知症独居による ACP の取りかかり
- ・服薬ロボットを知った
- ・他の方の考えでも、学べるがあった
- ・適切なタイミングでサービス担当者会議を開催したいと思う

○薬剤師

- ・在宅カンファレンスの流れや介入方法
- ・医師の意見が聞けた。より情報共有の必要性を感じた。
- ・それぞれの観点、視点
- ・いろんな視点からの意見を聞くことができた
- ・多職種連携ツールを、より活用していく
- ・他職種の目線を知ることが出来た

○看護師

- ・正解を見つけることではなく、多角的な視点から本人・家族を支えること
- ・他の事業所の方々と話（グループワーク）ができ、顔の見える連携が今後取れそうと思った
- ・多職種間の顔の見える関係を築けた
- ・DNR 確認の際の声かけの仕方やタイミング等、デリケートな問題なので、少し尻込みしてしまう
- ・他の職種の方の意見が聞けて良かった

○社会福祉士

- ・多職種連携を密にしていきたい
- ・在宅ケアについて、医師が在宅ケアに理解があり、シンプルにと言ってもらえ、周囲の協力を得ながら支援するコーディネートの大切さを学んだ

○その他

- ・ケアマネジャーさんの介入（意思確認）のタイミングの難しさ→考えて動くべき
- ・多職種において、それぞれの立場から様々な意見があることを改めて感じた
- ・在宅や看取りに関心があったので、他職種の意見が聞けて良かった
- ・それぞれの立場で話し合えたのが良かった
- ・現場の方々の悩みや考え方などが、リアルに聞けて良かった
- ・多職種間連携の重要性を再認識した

3. 在宅療養の支援についてお伺いします。

①円滑な在宅療養支援のため、日頃実践していることや、課題に感じていることを教えてください。

【実践していること】

○介護支援専門員

- ・あまり気にしないで声をかける
- ・本人、家族の不安について確認する
- ・多職種とのコミュニケーション、情報交換
- ・多職種連携
- ・関係の構築
- ・医療との連携
- ・家族、他職種との情報共有
- ・チーム内の情報共有を、こまめに行う

○薬剤師

- ・薬剤管理（一包化、残薬管理）
- ・必要に応じて、ケアマネジャーさんや訪問看護師さんとも電話相談している
- ・在宅が必要な人（独居、通院が難しい人）への声かけ、在宅訪問の提案
- ・まめに連絡をとる
- ・在宅業務についての啓発
- ・看護師との連携
- ・患者さんの家族とのコミュニケーション
- ・ご本人の意志とキーパーソンの希望のバランス
- ・患者本人、家族とのコミュニケーション

○看護師

- ・看看連携の充実
- ・多職種連携

○社会福祉士

- ・連携をすること
- ・家族の意向が強い時に、本人の意向と相違する内容をまとめている

○その他

- ・地域との連携
- ・ご本人、ご家族様への丁寧な説明
- ・ご本人の日々の様子の確認
- ・ご利用者様の本音を聞き出す

【課題に感じていること・解決に必要なこと】

○介護支援専門員

- ・各専門職によって、視点や意見が食い違うことがある
- ・感覚の違い（時に本人、家族との）の差があること、その差を埋めていくこと
- ・本人、家族ともに、病状理解が出来ていない事
- ・医師との連携
- ・リアルタイムの情報共有
- ・急変時の家族への対応
- ・家族により理解不足を感じる
- ・医師の意見を聞きとりにくい。訪問看護まで入れられないことがある。

○薬剤師

- ・病状確認不足
- ・一人暮らしで、家族も近所にいない方へ在宅医療を勧めているが、薬剤師からだけだと分かってもらいにくい気がする
- ・在宅へ行く人員の確保、多職種連携をするための情報共有がうまくいかない
- ・制度を知っている人が少ない
- ・薬剤師に伝わっていない
- ・最適なケアができているか
- ・多職種連携

○社会福祉士

- ・時間が合わない
- ・在宅ケアの様々なサービスをしっかり伝えること

○その他

- ・緊急時の対応
- ・どんな事が起こり得るかを知りたい

②多職種連携をすすめるために必要だと思う取り組みについて

○介護支援専門員

- ・普段から顔の見える関係を構築していく
- ・遠慮しないでやり取りすること
- ・各専門での意見交換を行う

- ・情報共有ツール
- ・顔の見える関係を築いていく
- ・チームとしての支援
- ・相互理解、情報共有
- ・日頃から情報共有を、まめにするようにする

○薬剤師

- ・このような勉強会に参加すること
- ・チャットの活用（1つにまとめる方がよい）、医療機関や会社によって違う
- ・患者様の考え、好み、生活時間、注意点などの情報共有
- ・ケアマネ担当者が分かる状態で在宅を勧めたい
- ・情報共有するためのツール（チャットなど）の導入
- ・連絡手段
- ・こまめな情報交換
- ・複数ある他職種連携ツールの一本化
- ・各施設への訪問、連携
- ・意見を言いやすい関係性

○看護師

- ・本日のような研修会での意見交換
- ・タイムリーに情報共有していくこと
- ・お互いの専門知識を共有し、目標に向かって話し合うことが大切だと思う
- ・本人に対しての情報の共有
- ・定期的に会議をする

○社会福祉士

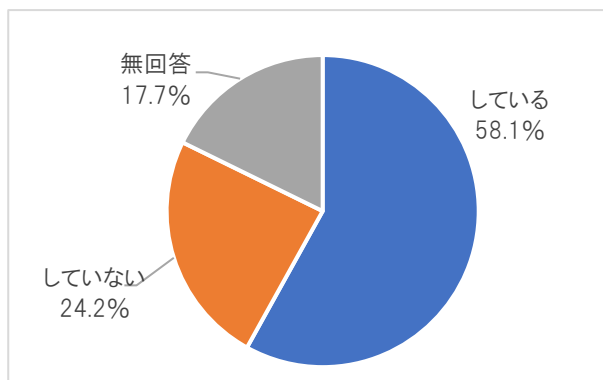
- ・在宅生活の方針を共有化
- ・どんな職種も、それぞれの立場でしっかり支援できると、かなり力強く支援が行える

○その他

- ・まずは、知り合う場。相談できる関係
- ・今回のような会議
- ・情報の共有と、そのためのツール
- ・多職種が顔を合わせる機会をつくること、話しやすいツール
- ・今回のような会、グループワークは特に効果的

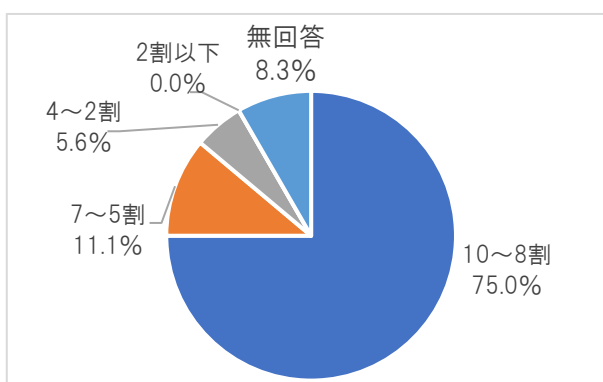
③利用者が入院した時に、医療機関に情報提供していますか。

	人数	割合
している	36	58.1
していない	15	24.2
無回答	11	17.7
合計	62	100.0



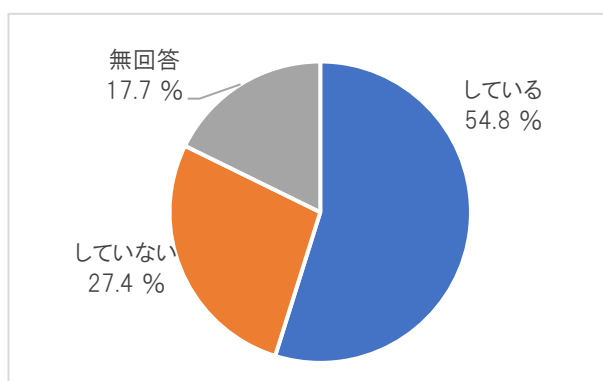
→約何割のケースにおいて提供していますか。

	人数	割合
10～8割	27	75.0
7～5割	4	11.1
4～2割	2	5.6
2割以下	0	0.0
無回答	3	8.3
合計	36	100.0



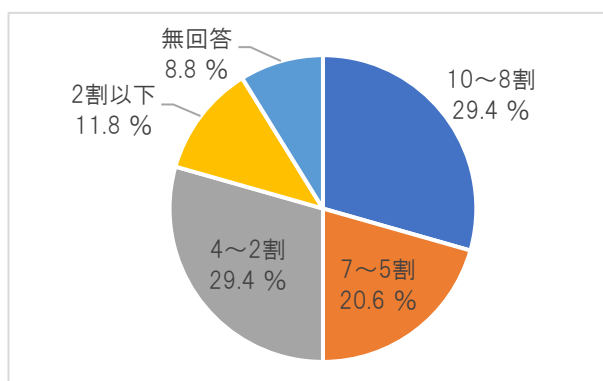
④退院前カンファレンスに参加していますか。

	人数	割合
している	34	54.8
していない	17	27.4
無回答	11	17.7
合計	62	100.0



→約何割のケースにおいて参加していますか。

	人数	割合
10～8割	10	29.4
7～5割	7	20.6
4～2割	10	29.4
2割以下	4	11.8
無回答	3	8.8
合計	34	100.0



⑤最期の迎え方について考え、本人、家族、支援者で話し合うという意識を高めるために、必要だと思う取り組みについて

○介護支援専門員

- ・良好な関係
- ・医師よりわかりやすい病状の説明、今後の変化について説明
- ・寄り添う姿勢、傾聴
- ・日頃から聞き取り
- ・本人の意向を大事にしながら、どのようにすり合わせていくか、一緒に話し合う機会をもつ

○薬剤師

- ・高齢の家族のいる若年層や中年層の人達に、人生会議の重要性をアピールしていく
- ・本人や家族への現症状や予後の説明、問題点の共有
- ・まず本人に説明しないと話し合いにならないため、認識を高める働きかけをして欲しい
- ・話し合いの機会を設ける。イベントをひらく
- ・普段からのコミュニケーション
- ・本人が希望すること
- ・早期 ACP 導入

○看護師

- ・説明用ツールの作成・活用
- ・在宅で最期を迎える時に活用できるサービスなど、ご家族等が理解しやすいツール（リーフレットなど）があると、家族の負担感が少し和らぐと思います
- ・その都度都度にタイミングがあると思うので、積極的に話していきたい（家族と話し合う際）

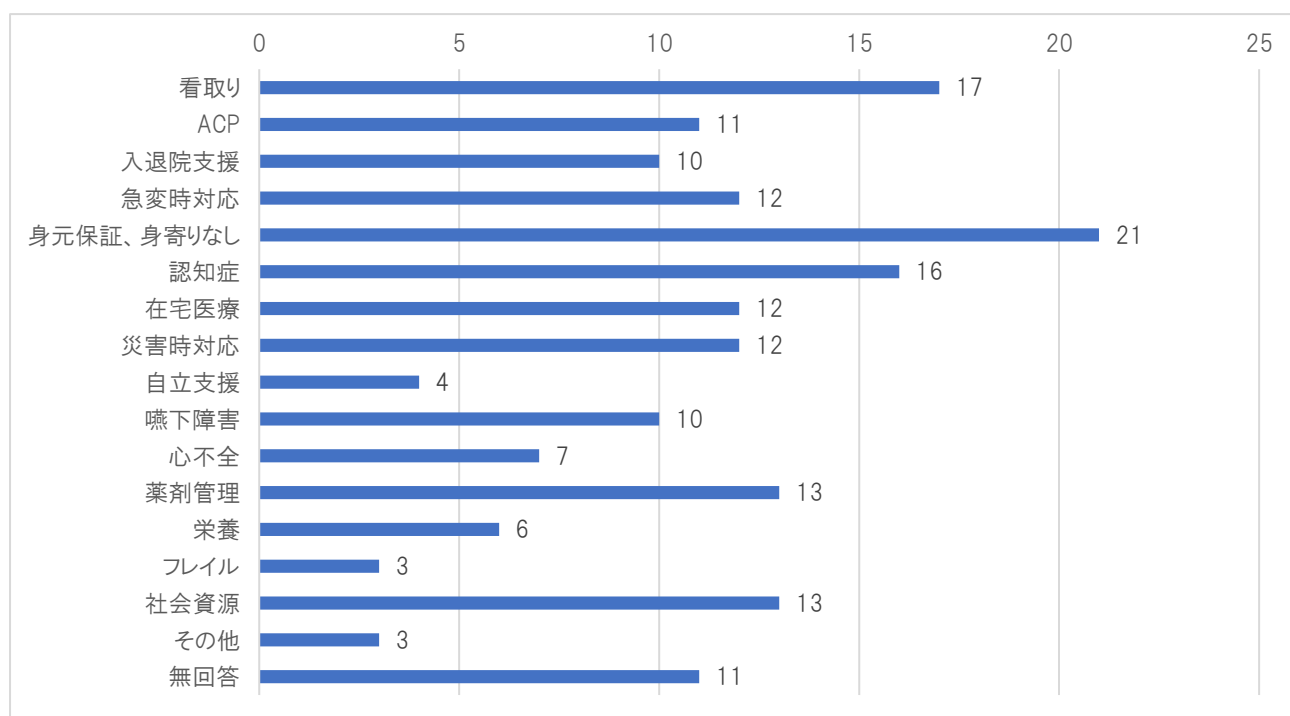
○社会福祉士

- ・意思確認
- ・様々な意見をまとめ、ご本人の意志とご家族の意志を上手くくみ取ってまとめていくこと、それを行う方の力量が大切

○その他

- ・相談員の定期的な訪問
- ・地域連携会議など、公の場でのコミュニケーション
- ・関係者全員のカンファレンスと、密な連絡のやり取り
- ・ACP のことを知ってもらう
- ・身寄りのない人のケース
- ・ACP の啓蒙活動

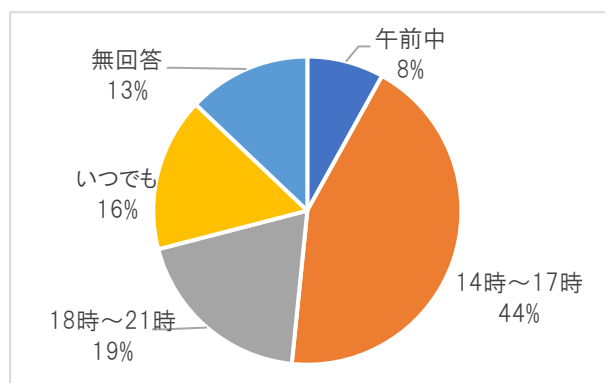
4. 今後、どのような内容の研修会や意見交換会を行ってみたいですか（複数選択可）



※その他（重症心身障害児に関する研修、精神疾患の高齢者や家族への対応、リハビリ）

5. 研修会の実施を希望する時間について

	人数	割合
午前中	5	8.1
14時～17時	27	43.5
18時～21時	12	19.4
いつでも	10	16.1
無回答	8	12.9
合計	62	100.0



6. 最後に、お気づきの点や、ご感想などがありましたら、ご記載ください。

- ・いつも大変勉強になります。
- ・とても分かりやすく講義をして下さり、とてもありがたかったです。グループワークも、あまり関わることのできない職種の方とお話しできて、とても楽しかったです。
- ・また、お話聞きたいです。ありがとうございました。
- ・駐車場がいっぱいになるため、夕方の方が良いと思いました。役所利用に来られた方に迷惑がかかるかな、と思いました。
- ・わかりやすい講演、ありがとうございました。
- ・わかりやすく身近なケース内容だった。今回のグループワークで出た意見を、今後の業務に活かしていく。